



ISO39001「道路交通安全マネジメントシステム」の更新登録決定 ～交通事故削減への取組みの評価～

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：二宮 雅也、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、このたび一般財団法人日本品質保証機構（JQA）による更新審査を経て、ISO39001^{※1}「道路交通安全マネジメントシステム」の更新登録（有効期限2018年9月13日）を受けました。

1. 登録の背景

今回の登録は、合併前の旧損保ジャパンと旧日本興亜損保の両社が、道路交通安全マネジメントシステムの国際規格であるISO39001（FDIS^{※2}）を2012年9月、世界で初めて取得した認証の更新登録となります。本更新にあたり、これまでの当社社有車の事故防止に関する管理業務に加え、お客さま向け事故防止サービスに関する管理業務を適用範囲に追加しました。

2. 当社の取組みのポイント

当社社有車の事故防止に関する管理業務においては、社有車による事故件数が連続して減少しているという実績が評価されました。

また、お客さま向け事故防止サービスに関する管理業務としては、2015年3月からビッグデータを活用した企業向け安全運転支援ツール「スマイリングロード^{※3}」の全国販売を開始するとともに、当社社有車にも配備しました。社員が実際に本サービスを利用することにより、社員の安全運転のみでなく、お客さまの安心・安全を支援する本サービスの普及促進を行うことで、企業の事故削減へつながる、社会的意義が評価されました。

3. 今後に向けて

スマイリングロードを積極的にお客さまに提案し安全運転や事故防止につなげていくとともに、当社の社有車事故も引き続き防止するよう取り組んでいきます。

※1 道路交通安全に対する取り組みへの国際規格として、交通事故死亡者や重大な負傷者の発生根絶を目的に、さまざまな組織・企業が取り組むべきマネジメントシステムへの要求事項を定めています。道路交通安全に関わる具体的な目標やアクションプランを作成し、マネジメントシステムとしてPDCAサイクルを回しながら、交通事故にともなう損失を継続的に低減していくことにつなげます。

※2 Final Draft International Standard の略で「最終国際規格原案」のことをいいます。

※3 企業の社有車にドライブレコーダーを搭載し、そこから得られる走行データを分析し、ドライバーの安全運転や事故防止につなげる業界初の先進的なサービスです。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 総務部 坂東 寛

電話：03-3349-3700